

選択的誘発・促進・硬膜外鎮痛分娩をお選びの方へ
【分娩前日から分娩当日までの流れ】

■入院当日または、前日までに

1. 各種検査を行います。
・心電図 ・呼吸機能検査 胸部レントゲン
2. ご入院・お部屋にご案内します。
お部屋のご使用方法、避難経路等は入院時に詳しくご説明いたします。説明の後、入院のための誓約書を頂戴します。
3. 必要な方には夕方または翌朝にミニメトロを子宮の入り口に挿入します。
子宮の入り口に風船があたり、無菌性の炎症を起こした状態を作ります。そうすることによってエラストーゼが産生され、その効果で子宮の入り口が柔らかくなって開きやすくなります。

■分娩当日 朝 ※原則絶食です

1. お部屋から LDR へ移動します。
2. 必要な方には朝の診察時にミニメトロを挿入します。
3. 1～2 時間後診察のため診察室に降りていただきます。
4. 診察後、LDR 室にて点滴、硬膜外鎮痛を行います。
(硬膜外鎮痛については別紙をご参照下さい。)
5. 鎮痛処置が終わったらベッドに横になっていただきます。
6. 約 20 分後、内診時の姿勢をおとりいただき、人工破膜を行い、胎児心電図と子宮内圧測定システムをセットします。

■分娩中

- 定期的に血圧、体温を測ります。
- 適時、内診を行い分娩進行を診断します。
- 膀胱に尿が充満しないように定期的に導尿を行います。
- 痛みが強くなった場合、鎮痛のお薬を追加します。
- 必要に応じてオキシトシン注射液を点滴につなぎ使用します。
- 必要に応じて温生理食塩水を使用し羊水量を調節します。
- コップ半分程度の水分を適時お摂りいただきます。
当院からカロリーメイトゼリーとボディメンテをお渡しします。

以上のことを行いながら、分娩の進行を監視していきます。この間、ご安心いただいてゆっくりとお過ごし下さい。

※いつでもご家族のご面会は可能です。

さぁ！いよいよお産が近づいてきました。
立会い出産をご希望の方は、予めお知らせ下さい。
ご家族様にお声をかけさせていただきます。

■児娩出・パースカンガルーケア

- 赤ちゃんがお産まれになられたら、そのままお母さんの胸にお抱きいただきます。その後赤ちゃんが眠るまで LDR 室でご家族皆様と一緒に過ごしていただきます。
- 定期的に血圧、体温、子宮収縮の程度、産後出血の状況を観察いたします。
- 硬膜外鎮痛用のチューブを抜去します
- お母さんの胸の上で赤ちゃんが眠られましたら、一旦赤ちゃんをお預かりして、赤ちゃんの身体測定や体温、呼吸数等をチェックいたします。
- お母さんの胸の上で赤ちゃんが眠られましたら、一旦赤ちゃんをお預かりして、赤ちゃんの身体測定や体温、呼吸数等をチェックいたします。。

■帰室（お部屋へ帰ります。）

- 帰室への準備として…
 - ・ 点滴を抜針します。
 - ・ 産褥パッドをつけます。
- ふらつきがなければ徒歩でお部屋にお帰りいただけます。
- 産後は尿意がいつものように感じられなかったり、尿が出にくいことがあります。お部屋に帰る時にスタッフと一緒にトイレに行ってください。
- もし、ふらつきが強い場合はまずお部屋に帰っていただきますが、できるだけ早い時間にトイレに行ってください。
(念のためスタッフが一緒しますので、ナースコールでお知らせください。)

※分娩時の状態やご希望により、朝まで LDR 室でお過ごしいただく場合がございます。

■母児同室スタート（赤ちゃんをお部屋にお連れします。）

- 赤ちゃんと一緒にお部屋でお過ごしいただけます。
- おむつのこと、赤ちゃんのお風呂、へその緒、おっぱいのこと、その他もろもろのことにつきましてはスタッフがご説明に伺います。

■分娩翌日からご退院まで

- 翌朝、血液検査を行います
- 翌日からシャワーも可です。(ぬるめのお湯で短時間でお済ませ下さい。)
- 基本的には毎朝、お母さんと赤ちゃんの診察があります。お声かけいたしますので赤ちゃんと一緒に診察室にお越し下さい
- ご退院日もしくはご退院前日には経膈超音波で子宮腔内の検査をします。
- ご退院予定は_____です。

ご退院当日は、午前 11 時までのご退院にご協力いただきますようお願い申し上げます。